

第2期船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）に対する意見募集（パブリック・コメント）の結果について

第2期船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）に対して市民の皆様からお寄せいただきました御意見及びそれに対する本市の考え方について、取りまとめましたので公表します。

1. 意見募集（パブリック・コメント）の実施概要

（1）意見の募集期間

令和4年2月1日（火）～令和4年3月3日（木）

（2）意見の募集方法

○広報ふなばし（令和4年2月1日号）及び市ホームページに意見募集（パブリック・コメント）のお知らせ掲載

○政策企画課、行政資料室、船橋駅前総合窓口センター、各出張所・連絡所、各公民館、各図書館及び市ホームページにおいて、第2期船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）を公表

（3）意見を提出できる方

○市内に住所を有する方

○市内に通勤または通学されている方

○この案に関し利害関係を有する方（市内で事業を営む方など）

（4）意見の提出方法

郵送、FAX、電子メール、直接持参、オンライン申請システムのいずれかの方法

（5）意見の数

5件（提出者数2名（郵送1名、オンライン申請システム1名））

2. お寄せいただいた御意見と市の考え方

No.	基本目標	施策	ご意見	意見に対する市の考え方
1-1	3	3	<p>「子育て世帯包括支援センター」が新しく設置されることは、素晴らしいです。</p> <p>過去に、「高齢者向け地域包括支援センター」が設置された時には、皆の希望を聞きながら、施策内容を充実させていったことを思い出しました。具体的な施策の内容が重要です。皆の意見を聞きながら内容を充実させていってください。</p>	<p>本市では、令和2年1月、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない細やかな支援体制を構築し、子育て世代が安心して妊娠・出産、子育てができる環境を実現するため、子育て世代包括支援センター「ふなここ」を設置しました。</p> <p>今後も、市内4か所の保健センター等と連携し、御意見を広く伺いながら、妊娠期から子育て期にわたる様々な相談を受けるほか、必要な情報を提供するなど、相談支援体制の充実を図っていきます。</p>
1-2	3	一	<p>中学3年生から上の高校生も含めて、年1回だけ、「誕生後の首の座らない赤ちゃんの抱き方」の授業を行うことを提案します。</p>	<p>本市では、児童ホームが主体となって、協力を得られた中学校と連携して「中学生と赤ちゃんふれあい事業」を実施しています。</p> <p>この事業では、中学3年生が、首の座らない新生児とほぼ同じ大きさ、重さの赤ちゃん人形を使って、抱き方、着替え、オムツ替えなどの体験実習をしているほか、助産師による講話や、児童ホームに来館される乳幼児親子とのふれあいの時間等を設けています。</p> <p>今後も、中学生に命の大切さを伝えるため、この事業を継続していきたいと考えています。</p>
2-1	4	4	<p>「認知症高齢者の増加ペースが加速することも見込まれていることから、地域で支える体制をさらに整備」について、認知症の専門家を市役所内や地域包括支援センターに配置してほしいです。保健師や社会福祉士などではなく、実際に治療にあたる専門家として精神科医師や作業療法士、言語聴覚士などをです。特に作業療法士や言語聴覚士は市役所内にいるとのことなので、異動などで地域包括ケア推進課などに配置してほしい。</p>	<p>本市では、保健師、社会福祉士、介護支援専門員等の専門職2名以上、及び精神科医等の専門医1名で構成される「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センターに設置し、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、自立支援のサポートを行っています。</p> <p>現時点では、現在の支援体制を継続してまいります。今後、支援内容のさらなる充実を図る中で、専門職の配置についても、必要に応じて検討してまいります。</p>

No.	基本 目標	施策	ご意見	意見に対する市の考え方
2-2	4	4	「公共交通不便地域に対する支援」について、前貝塚町（船橋啓明高校近く）や旭町あたりは交通空白地域です。「自動車教習所や老人福祉センターの送迎バス」が運行しているようですが本数が少なく利用しづらく、高齢者以外は公共交通手段が皆無です。道が狭くて難しいのかもしれませんが、主要駅（西船橋駅や船橋駅）への路線バスを通してほしいと思います。	本市では、鉄道駅及びバス停留所から一定距離遠い地域を公共交通不便地域と捉えており、御意見のありました前貝塚町や旭町の一部については、旭町・上山町地区として公共交通不便地域重点地区と捉えています。 公共交通不便地域の解消にあたっては、地域住民の御協力のもと各地域の特性を考慮しながら、新たなバス路線の導入のほか、自動車教習所や老人福祉センターの送迎バスを活用した支援事業の拡大等を検討してまいります。
2-3	4	4	「路線バス等の利用促進」についても、高齢者向けのフリーパスは確かにあるものの、他の年齢層向けのフリーパスはなく、バス離れが進んでしまいます。川崎市や横浜市のように、観光向けに市内のフリーパスを作ることはできないのでしょうか。船橋市はアンデルセン公園、船橋駅、ららぽーと、中山競馬場、三番瀬公園などのように観光地が点在しているので、あれば便利だと思います。	市民・来訪者の公共交通による外出・回遊を促すため、市内の観光資源等を周遊できる企画チケット等について、他市の先進事例を参考に研究してまいります。